

日本のさまざまなジャンルの曲の歌詞に登用された腔腸動物

久保田 信

Shin KUBOTA : Coelenterates mentioned in the lyrics of various kinds of songs in Japan

生物が歌詞に登用される例が多々あるが、ここでは著者が特に専門に研究しているクラゲ類が属する腔腸動物（刺胞動物門＋有櫛動物門）を歌詞に組みこんだ曲について、下記のようにアイウエオ順に曲名を列挙し、各曲ごとに登場した種をすべて挙げた（4曲のみ曲名だけに登用）。選曲は、日本のもので比較的良好に知られた曲に限定し、海洋生物が豊富なわが国でどれだけこの動物群を盛りこんだ曲が作成されているか探索した。作詞・作曲・歌手名などは省略したが、同名の曲の場合のみ記入した。外国曲での同様の登用例は将来にゆずり、国別の登用の比較を実施の予定である。

探索は、童謡、唱歌、抒情歌、フォークソング、ポップス、歌謡曲、演歌、軍歌、民謡、校歌、ドラマ主題歌、アニメソングなど、できる限りのジャンルの曲で実施した。

多数の著書やCD、カラオケなどを調べたが、多くの海洋生物を登用して作詞作曲された本川（1993）による著書に多数の曲があった。また、インターネットで歌詞検索が可能な「ゆめカラ」を参照した。

結果としては56曲がこの動物群を歌詞に含んでおり、その内訳など登用について考察した。

本稿をまとめるにあたり、クラゲのメーリングリストの会員（敬称略）、飯村真朱（元会員）、栗田智子、下河辺和人、豊川雅哉、東日出夫、細田美香、松村秀男、山本寛孝の諸氏から有益な情報を得たので深謝致します。

腔腸動物が登場するよく知られた日本の曲
青い珊瑚礁：珊瑚礁

青い夏まで待てない：珊瑚礁
いとしの海岸物語：サンゴショー
いんてりあクラゲ：インテリアくらげ
海の底で唄う歌：珊瑚
沖のてづるもづる：イソギンチャク
およげたいやきくん：ももいろサンゴ
お嫁においで：珊瑚
怪盗ルビイ：金銀サンゴ
9月の海はクラゲの海：クラゲ
クラゲ：クラゲ（プラヌラ、ポリプ、ストロビ
ラ、エフィラ）
くらげ：くらげ
海月くらげ：海月
Ku-ra-ge 水母：くらげ
くらげの唄（作詞・作曲：チチ松村）
くらげの唄（作詞・作曲：金子光晴；作曲：
高嶋みどり）
クラゲのきもち：クラゲ、イソギンチャク
くらげの恋：珊瑚礁
恋するジェリーフィッシュ：海月、jellyfish
コーラルリーフ
Summer Time Kids Story：クラゲ
サンゴ唱歌：珊瑚礁、サンゴ虫、腔腸動物、石
珊瑚、珊瑚、リュウモンサンゴ、
キサンゴ、ヤギの仲間
珊瑚と花と：珊瑚
サンゴのタンゴ：珊瑚礁、珊瑚、ソフトコーラ
ル、アクロボラ、キクメイシ、
クサビライシ、ミドリイシ
jellyfish girl：海月
jellyfish sensation：jellyfish
jellyfish のテーマ - 海辺のパカンス：クラゲ

jellyfish のテーマ - ご機嫌いかが？

jellyfish のテーマ - 夢で会いましょう：海月

12ヶ月のかぞえうた：クラゲ

白いサンゴ礁：サンゴ礁

白い2 白いサンゴ礁：サンゴ礁

シンデレラ・サマー：珊瑚

瀬底音頭：珊瑚

瀬底上り口説：珊瑚

瀬底慕情：珊瑚礁、アクロボラたち、セリアト
ポラ

DA DA DA：珊瑚礁

ダイヤモンドダストが消えぬままに：紅珊瑚

チャコの海岸物語：サンゴショー

デビュー - Fly me to Love -：珊瑚

20th Party：サンゴ礁

動物は動く：クラゲ

渚のすべて - morining moon, rising sun -：
珊瑚

夏の誤算：珊瑚礁、珊瑚の林

ナマコの教訓歌：珊瑚

波：くらげ

人魚姫：サンゴ

母に捧げるバラード：クラゲ

bambi walk - her incredible map：jellyfish

Be yourself：珊瑚

琵琶湖就航の歌：珊瑚

二人は仲間（共生のうた）：珊瑚、イソギンチ
ャク

星の砂：サンゴ

マーメイド：珊瑚

マリンプルーの囁き：珊瑚

水の中の Answer：珊瑚礁

私の夏：珊瑚礁

歌詞に登場した分類群のリスト（*：六放珊瑚亜綱；**八放珊瑚亜綱）とその使用頻度（曲数：同じ曲に複数の分類群が含まれている場合は独立にカウント）

* アカサンゴ（1）

* アクロボラ（2）

* イシサンゴ（1）

* イソギンチャク（1）

* キクメイシ（1）

* キサンゴ（1）

* クサビライシ（1）

* クラゲ = jellyfish = 海月 = 水母（20）
腔腸動物（1）

* サンゴ／珊瑚礁／コーラルリーフ（33）

* セリアトポラ（1）

** ソフトコーラル（1）

* ミドリイシ（1）

** モモイロサンゴ（1）

** ヤギの仲間（1）

* リュウモンサンゴ（1）

以上のように、16 分類群の登用があった中で、腔腸動物とクラゲ以外の 14 分類群がすべて刺胞動物門花虫綱に属していた。

花虫綱の中では、六放珊瑚亜綱に属するイシサンゴ類が、珊瑚あるいは珊瑚礁という総称で最も頻繁に登用されていた（イシサンゴ自体は 1 曲のみ）。イシサンゴ類の個々の種の登用としては、アクロボラあるいはイソギンチャクが 2 曲ずつに、残りの種類が 1 曲ずつであった。

サンゴに続いて頻繁に歌詞に使用されていたのがクラゲであった。両者とも総称名であるが、歌詞に登場したクラゲたちは、多種多様なクラゲたちではなく、恐らく大形で目につきやすい鉢クラゲ類、特にミズクラゲやアカクラゲなどであろう。

ところで、社団法人 日本音楽著作権協会 JASRAC のホームページで、作品名あるいは副題題名で、例えば“くらげ”、“水母”、“海月”が使用されているものを検索すると、「Kurage 水母」という曲を除き、それぞれ上記以外の作品が 58, 9, 12 件示されたが、ここではそれらは逐一示さなかった（jellyfish ではヒットなし）。

本稿では繰り返し述べるが、比較的一般によ

く知られた曲にしぼっており、インディーズな曲については別の機会にまとめたい。

同様に“珊瑚”、“さんご”、“いそぎんちゃく”についても検索すると、それぞれ 63, 61, 3 件がヒットしたものの、上記のリストでは、「青い珊瑚礁」と「珊瑚と花」が登録されているのみであった。

このホームページでは、磯巾着、ポリプ、プラヌラ、エフィラ、ストロピラ、ももいろさんご、紅珊瑚がついた作品は全くヒットしなかった。

唄は無限にあり、すでに忘れ去られたような曲もあるだろうが、今後も時代の流れとともに

新曲もどしどし作られてくるだろう。

主な参考文献

本川達雄. 1993 : 歌う生物学. 284 頁, 講談社, 東京.

(〒 649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海京都
大学大学院理学研究科附属瀬戸臨
海実験所)

Seto Marine Biological Laboratory, Graduate
School of Science, Kyoto University, Shirahama,
Nishimuro, Wakayama, 649-2211, Japan